

## 平成 29 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 29 年 10 月 29 日（日）

開会：午後 1 時 00 分 閉会：午後 2 時 20 分

場所：城山 3 丁目集会所

参加者：男 11 人、女 10 人 計 21 人（うち職員 0 人）

町職員：町長、副町長、建設部参事、上下水道課長、政策課員

### ○懇談

男性（1） この前新聞に浜乙女の工場の増築の話が載っていたのですが、今後稼働すると人も増え車も増えてくると思うんですが、東員病院から出て浜乙女の横を通過して、大仲さつき病院へ行くような道を作る計画とかはないんですか。

町長 今のところはないです。あの工業団地の範囲だけで他は聞いていないです。

男性（2） 農業の話ですが、700 h a の農地にはそれぞれ所有者がいると思うんですが、ブルーベリーとかぶどうというのはどこかの農家に頼んでやってもらっているということですか。

建設部参事 長深地区の耕作放棄地になっていたところを使用し新しい農作物、ぶどう、ブルーベリーの栽培をやり始めました。耕作放棄地の解消にもなっています。

男性（3） そうするとやはり土地は町の持ち物ではなく地主がいるんですよね。そこに町のお金を投入しているということですよ。まだ始まったばかりだと思うんですが、土地をどの程度使用して、売り上げ規模をどの程度にして、利益がどのくらい出てくるんだと、東員町にどれだけ還元されてくるのか。東員町の土地だったら利益が出た分がそのまま還元されるんだと思うんですが、個人がやっているのだと税金が投入されて収益が個人のものになるとちょっと解せない気がするんですが、その辺どうなんですか。団地にいると農地はあんまり関係ないんですよね。在来地区のほうへ投入された税金が、団地のほうへどのように還元されるのか。

建設部参事 まず、土地型利用でしかない東員町の農業で、新しい付加価値の高い作物ということでぶどう、ブルーベリーを町のお金を使って実証農場でさせていただいています。3 年経ちまして果実を収穫する事ができまして、東員町でもこういった農作物ができるということが実証されましたので、今後についてはやる気のある若い農業者にこれを託していくということで、その方達に頑張ってもらって、自分でお金を投資しな

がら農地の作物販売の拡大を図っていただくというのが一つ。

それと、今考えておりますのが、町が極力負担がないように、先進的な農業技術を持たれた農業法人、町内にはおりませんので町外から誘致してくる。また先ほど申し上げたように、特殊な加工技術を持った企業を町へ誘致などして、極力企業にお金をだしていただきながら東員町の農業を変えていただく。そこに農業者が参加する仕組みを構築していくということで考えております。

農業で儲けるとするのが難しいというのは我々も理解しております。一気に 700 h a の農地が儲かる農地にはならないだろうと思っております。長い年月が必要です。しかしながら現状でおいておきますと、農地の維持すらできなくなります。第一段階として、今一番可能性のある作物として 700 h a の農地のうち 150 h a で作られている大豆に目をつけています。四日市市に大豆製品を売り出し中の業者がございまして、一緒になって取り組むことで、豆乳、豆腐、揚げなどの大豆製品を色々と売り出すことが可能です。更にこの業者の技術を使えば大豆に限らず、農産物を非常に細かいパウダーにすることができ、いろいろな製品の広がり考えられます。まずは大豆ですが、大豆が軌道にのったあといろいろな展開を考えていきたいと思っております。

それから雇用の問題ですが、一気に雇用が 100、200 人生まれるものではございません。これは大豆が始まって、麦であったり米であったりいろいろなものに波及していった時に徐々に広まっていくんだろうと思っております。税金ですが、税金もこれをやりだしたからといって一気に税金が上がるというものではございません。これは 5 年、10 年とある程度長いスパンで考えていかなければなりません。ただ、なにもしなければ税金は入ってこない状態ですので、そんな中で 700 h a の農地が最終的に守られて農業をやることによって雇用が生まれる。雇用が生まれ税金を納めていただく、そういったシステムを考えていまして、農地を持っておられる方、これは個人です。また、農地を借りてやっておられる方というのが、個人もありますが東員町に 29 団体あります。この方々が農業をやっていく中で、今までは農業でしたが、これからは完全に産業化していただく。700 h a の農地を無駄なく産業化し儲けていただく。このことによって雇用が生まれ、そして税金を納めていただく。そうして税金を上げていきたいと考えていますが、言われた様に何年後にいくらということまでは今のところ予定はたっていませんが、5 年を目処に第一期プロジェクトチームは動いておりますので、3 年後にはある程度お示しはできるのかなと思っておりますので御理解いただきたいと思っております。

男性 (3) 私もすぐに雇用が増えるとか、税金が増えるとかは考えておりませんが、ただやるからには税金がかなり投入されますから、ないとは思いますが失敗したら使い捨てになっちゃうかもしれませんし、回収がどういふふうになるのか気になりますし、何十億儲かって税金が安くなるとか目に見えて分かるようなところまですすめて欲しいし、今こうなっていますという正確な情報を広報なりでお知らせして欲しい。

町長

そんなに一般会計から支出されていません。というのも今のところ面積も小さいですし、国の補助も入れてありますし、最小限で実証実験を行いました。3年である程度目処がつかしました。これから拡大していくのは民間資本をいれます。労働も町内の若い人を入れます。これから町の税金を使うというのはほとんどないと考えていただいて結構です。虫のいい話ですが、町もお金を使わないで付加価値のある農業をやっていこうと思っています。何十億も儲からないと言われましたが、我々は何十億は当然目指しております。今生産額が3億7千万です。所得にしたらマイナスかもしれません。こんな農業をしていたら町全体がつぶれていきます。団地は関係ないといわれましたが、町全体のうち700ha遊んでいるわけで、これはもったいないですよ。町のお金をあまり使わないで生産性を高めることを今真剣に考えていますので、農家の皆さんと一緒に、できるだけ皆さんにご迷惑をかけないように進めていきたいと思えます。農家が儲からないと農業を続けていく人がいなくなってしまうので、そのところを頑張っていきたいと思えます。

男性（3）

話は変わるのですが、東員駅から役場までの、今コスモス畑になっているところですが、町長が選挙に出る時にミニ開発をするとマニフェストに書かれていましたが、昨年の町政懇談会のときにあそこは農地で開発が難しいという話でした。ということは、あそこは開発されずにコスモス畑でいくのか、マニフェストどおり開発するかどうするのですか。

町長

確かに選挙の時にマニフェストとしてあそこの開発を書きました。私が就任してから6年半経ちましたが、規制でがんじがらめでしたので就任当初から国、県など走り回りました。規制は本当に厳しくて大変でしたが、ようやく光が見えてきました。今年の夏に、平成19年に策定した都市計画マスタープランを改定しました。その中にあそこの開発を位置づけました。今東海農政局や中部整備局、三重県と開発の方向で話し合いを進めています。今年度中に皆さんにこういう方向でいきますとお示しをさせていただきますので、すみませんがもう少しだけお待ちください。

男性（4）

東洋ゴムの緑の風というものがあって、町と県と5年間の計画をされているということで、今日は晴れていれば、東洋ゴムの清掃があるはずだったんですが、5年後も提携は継続するんですか。今やっただけしているのですが、終わりました、返しますという形になるのか、引き続きやっただけなのか。

建設部参事

東洋ゴムにやっただけしている企業の森ですが、企業も自然環境を守っていこうということで、三重県の制度にのっとったことを城山3丁目でやらせていただいております。3年目になるかと思いますが、自治会長さんや役員の方には現地での立ち会いや企業との話し合いもしていただいております。企業の森制度はご承知のとおり5年でございますが、5年で終わることなく、その後も引き続き企業にご協力をいただ

きながら里山整備を行っていただきます。また改めて申し込みという形で確認をさせていただきますのでよろしく願いいたします。

男性（４） この前議会だよりに、草刈り委託契約の見直しということで、要請があれば見直しを検討します、というかたちで掲載されていましたが、より良い町づくりということで城山３丁目では、一斉清掃以外にボランティアで、資源ごみ回収のあたりを草刈りしているんです。町としては割り切った考えなのか、こちらから要請すれば契約してどうなるのかどうでしょうか。例えば高压線下なんかは契約してお金をもらってやっていますよね。

町長 もともと高压線下は、業者やシルバー人材センターへ委託していたのですが、自治会から自分達ならもっと安くできるし、責任をもってやるということで契約を結ばせていただいたと聞いています。ですので、現在業者に頼んでいる他の部分についても自治会のほうから要請があれば、検討させていただきます。

建設部参事 議会だよりの中の見直しというのは、在来地区では県道、国道などで町からの委託と言うことで草刈りを自治会にさせていただいております。その中で、草刈りの面積と均等割りという計算でお金を支払いさせていただいております。在来地区でも大きな自治会と小さな自治会がありまして、均等割りというのあまり芳しくないのではないか、ということで草刈りの面積が分かっているんだから、そのように割り直したらどうかという提案をいただきましたので検討させていただきます、と答弁させていただいたのが議会だよりに掲載されていることです。

それから、今町長が申しましたことについては、町がやらなければいけない笹尾西から続く広域的な場所については、業者委託をやっていました。しかしながら、それを見ていた住民さんがこれくらいなら自分達でできるから、業者より安く請け負うから自治会に委託してくれないかというようなことで始まって、今現在に至っております。

緑地帯の部分は建設課が、刈幅 2mほどで業者委託しています。先ほど話された資源ごみ回収の場所付近は、それ以外の場所だと思うんですが・・・。

男性（５） 緑地帯のところは 30 年くらい荒れ放題で、防犯上も悪いし、風通しも悪い。ある地区の方から蚊が発生して大変だし、子どもが引っ張り込まれても分からないと意見があり、では綺麗にしようかということで伐採したり、土砂をあげたりして大分風通しがよくなりました。そこにイヌナシを植えたりしました。当初は町から草花を植えてはダメだといわれましたが、最終的には許可をいただきました。

建設部参事 緑地は町の持ち物なんですけど、今はそんなことはないのですが、過去には緑地を私有化している方がおみえになりまして、一度線を引かせていただきまして、ここは町

が管理するので勝手にしないでくださいとやらせていただきました。財政的な問題もありまして、緑地帯を全て行政が手をつけるのは難しいということで、勝手にやられるのは困りますが、自治会が自分達の住みよい環境づくりということで手を入れられるのは町としてはおおいにやっていただきたいと思ひますし、ボランティアということでやっていただければありがたいと思ひます。

男性（6） 高齢者としての意見ですが、今までの農業の話とか、水道の話とかは分かるんですが、我々は、新しい仕事をやるわけでもなく、収入も一定です。では我々はどういうイメージで話を聞かかという、高齢化していく城山3丁目は、75歳以上が百何十人いますと、何年後は何人になりますというのもそれも分かります。それじゃどうするかということなんですけど、なかなか答えはないと思うんですけど、私は昔元気サロンやっていた、でも全員が来ていたわけでもない、実際に百何人きたら場所がないのも事実、ですが来た人は一生懸命やっている。来ない人がどうしているかは分かりません。いつまでたっても分かりません。ただ困っている人がいるという東員町の説明も分かります。介護予防せんならん、認知症対策せんならん、そういう話もみんな分かります。それじゃどうするかという、よく言われる健康年齢を、全国からみたらかなり上のレベルを狙って、町として一つ大きな施策をしてもいいんじゃないかと思うんです。私が思うに、町がやれることはなんや、我々ができることはなんやという話し合いの場をもう少しもてないか。長生きしたい人はたくさんいるんだから、そんなにお金かけずともソフト的な面でできると思うんです。みんながいろいろなことを好き勝手にやって、最後の狙いはみんなが健康で元気のある町を目指すということで町のバックアップみたいなものがないとだめだと思ひます。

社会福祉協議会が、健康づくり介護予防支援事業というのをやっていてここに書いてあるんですが、言葉自体がとても弱々しい。社会福祉協議会はもっとしっかり考えて欲しい。

町長 社会福祉協議会の話が出てましたが、別の事業で、社会福祉協議会が各自治会へお邪魔して皆さんのお話を聞きながら、皆さんでできることはないですか、という話を回っています。例えば中上では、不便なところなんで買い物に困っているよね、という話になって、そうしたら車さえあれば運転は自分達でするよねという話になって社会福祉協議会から車を借りて、ボランティアでこの日のこの時間にイオンまで行って2時間後に帰ってきますよ、という事業が始まりました。今はイオンだけですが、これが病院とかに広がっていけばいいよねという話をしています。また、いろんな自治会で月に1回カフェみたいなものをやるのが広がってきましたが、その中で集会所に行くのが辛ければ自宅でもいいんじゃないかという話がでてきたところもあって、話がどんどん広がっています。各々の状況に合わせていろいろと展開しているんです。社会福祉協議会は、同じ自治会に何度も何度も行って話し合いをします。その話し合いの中から、その地域が主になった新しい事業が始まっています。城山3丁

目でも話し合いを続けていけば何かが始まるかもしれません。今言われたように、ぜひ何かを始めていってください。

・懇談による意見

1. 新しい農業について
2. 駅前開発について
3. 企業の森について
4. 草刈りについて
5. 高齢者の健康・地域への貢献について